PATENT COOPERATION TREATY

PCT

INTERNATIONAL PRELIMINARY REPORT ON PATENTABILITY (Chapter I of the Patent Cooperation Treaty)

(PCT Rule 44bis)

Applicant's or agent's file reference F12-PCT-2005	FOR FURTHER ACTION	See item 4 below		
International application No. PCT/JP2005/001055	International filing date (day/month/year) 27 January 2005 (27.01.2005)	Priority date (day/month/year) 03 February 2004 (03.02.2004)		
International Patent Classification (8th edition unless older edition indicated) See relevant information in Form PCT/ISA/237				
Applicant KOTOSUGI INC.				

1.	 This international preliminary report on patentability (Chapter I) is issued by the International Bureau on behalf of the International Searching Authority under Rule 44 bis.1(a). 					
2.	This REPORT consists of a total of 4 sheets, including this cover sheet.					
	In the attached sheets, any reference to the written opinion of the International Searching Authority should be read as a reference to the international preliminary report on patentability (Chapter I) instead.					
3.	3. This report contains indications relating to the following items:					
	Box No. I	Basis of the report				
	Box No. II	Priority				
Box No. III Non-establishment of opinion with regar applicability			on with regard to novelty, inventive step and industrial			
	Box No. IV	Lack of unity of invention				
	Box No. V	Reasoned statement under Article 35(2) with regard to novelty, inventive step or industrial applicability; citations and explanations supporting such statement				
	Box No. VI	Certain documents cited				
	Box No. VII	Certain defects in the international application				
	Box No. VIII	Certain observations on the	e international application			
4.	4. The International Bureau will communicate this report to designated Offices in accordance with Rules 44bis.3(c) and 93bis.1 but not, except where the applicant makes an express request under Article 23(2), before the expiration of 30 months from the priority date (Rule 44bis.2).					
		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·				
			Date of issuance of this report 07 August 2006 (07.08.2006)			
The International Bureau of WIPO 34, chemin des Colombettes 1211 Geneva 20, Switzerland		lombettes	Authorized officer Masashi Honda			
Facsi	imile No. +41 22 338 82 70		e-mail: pt08@wipo.int			

Form PCT/IB/373 (January 2004)

特許協力多 発信人 日本国特許庁 (国際調査機関)	条約	REC'D 17 MAR 2005
出願人代理人		WIPO PCT
藤原 道彦		·
あて名 〒 611-0021 京都府宇治市宇治蛇塚 4 9 - 3 1	国際調査 (法施行)	CT 機関の見解 售 見則第40条の2) 規則43の2.1)
	発送日 (日. 月. 年) 15. (3.2005
出願人又は代理人 の書類記号 F12-PCT-2005	今後の手続きについては、	下記2を参照すること。
国際出願番号 PCT/JP2005/001055 (日.月.年) 27.0	優先日 1.2005 (日.月.	軍) 03.02.2004
国際特許分類 (IPC) Int. Cl' A61K31/085	, 35/78, A61P1	9/10
出願人(氏名又は名称) 株式会社	紅豆杉	
1. この見解むは次の内容を含む。 ※ 第 I 欄 見解の基礎 第 I 欄 優先権 第 II 欄 優先権 第 II 欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能 第 IV 欄 発明の単一性の欠如 ※ 第 V欄 P C T 規則43の2. 1(a)(i)に規定する それを要付けるための文献及び説明 第 VI 欄 ある種の引用文献 第 YI 欄 国際出願の不備 第 YI 欄 国際出願に対する意見	新規性、進歩性又は産業上の	
2. 今後の手続き 国際予備審査の請求がされた場合は、出願人がこの国際關 際予備審査機関がPCT規則66.1の2(b)の規定に基づいて ない旨を国際事務局に通知していた場合を除いて、この見	国院調査機関の見牌省を国際計構者は国際予備審査機関の	最初の見解書とみなされる。
この見解書が上記のように国際予備審査機関の見解書とみ ら3月又は優先日から22月のうちいずれか遅く満了する な場合は補正書とともに、答弁書を提出することができる)期限が経過するまでに、山	/ I S A / 2 2 0 を送付した日か 願人は国際予備審査機関に、適当

見解告を作成した日 18.02.2005			
名称及びあて先	特許庁審査官(権限のある職員)	4 P	3337
日本国特許庁 (ISA/J.P)	福井 美穂	<u> </u>	
郵便番号100-8915 東京都千代田区段が関三丁目4番3号	電話番号 03-3581-1101	内線 	3492

さらなる選択肢は、様式PCT/ISA/220を参照すること。
3. さらなる詳細は、様式PCT/ISA/220の備考を参照すること。

第I欄 見解の基礎				
1. この見解審は、下記に示す場合を除くほか、国際出願の言語を基礎として作成された。				
この見解書は、 それは国際調査	語による翻訳文を基礎として作成した。 ₹のために提出された P C T 規則12.3及び23.1(b)にいう翻訳文の言語である。			
2. この国際出願で開 以下に基づき見解	示されかつ請求の範囲に係る発明に不可欠なヌクレオチド又はアミノ酸配列に関して、 書を作成した。			
a. タイプ	配列表			
	配列表に関連するテーブル			
b. フォーマット	一			
	□ コンピュータ読み取り可能な形式			
c. 提出時期	□ 出願時の国際出願に含まれる			
	この国際出願と共にコンピュータ読み取り可能な形式により提出された			
	出願後に、調査のために、この国際調査機関に提出された			
3. さらに、配列 た配列が出版 あった。	列表又は配列表に関連するテーブルを提出した場合に、出願後に提出した配列若しくは追加して提出し 顔時に提出した配列と同一である旨、又は、出願時の開示を超える事項を含まない旨の陳述書の提出が			
4. 補足意見: 				
	·			

国際調査機関の見解ቔ

国際出願番号 PCT/JP2005/001055

第V欄 新規性、進歩性又は産業上 それを裏付る文献及び説明	の利用可能性につい 	てのPCT規則43の2. 1(a) (i) に定める見解、 	
1. 見解			
新規性(N)	請求の範囲 請求の範囲	1	有 無
進歩性(IS)	請求の範囲 請求の範囲	11	有 無
産業上の利用可能性(IA)	請求の範囲	1	有 無

2. 文献及び説明

国際調査報告には、以下の文献が示されている。

文献 1 /US 2003/0144216 A1

文献 2 / JP 2003-63971 A

文献 3 / JP 2002-541158 A

文献4/NUTRITION AND CANCER, 2001, Vol.41, Number 1&2, page 82-90.

国際調査報告に示された文献1~4には、請求の範囲1に係る発明は記載も示唆もされていない。

したがって、請求の範囲1は、新規性及び進歩性を有する。